



Version 29.0: Winter '14

# Salesforce の制限クイックリファレンスガイド



最終更新日: 2013/10/3



## 目次

Salesforce の制限クイックリファレンスガイドの概要.....	19
<b>第 1 章: Salesforce アプリケーションの制限.....</b>	<b>2</b>
Salesforce のエディション別の機能制限.....	2
Salesforce のエディション別の機能制限一覧.....	2
分析の制限.....	10
キャンペーンの制限.....	11
Chatter の制限.....	12
カスタム項目の制限.....	14
メール制限.....	15
Salesforce ナレッジの制限.....	16
選択リストの制限.....	18
サイトの制限.....	19
ワークフローと承認の制限.....	19
データ関連の制限.....	21
日付: 日付項目の有効範囲.....	21
インポートの制限.....	21
ルールの制限.....	23
検索の制限.....	24
ストレージ容量の制限.....	25
ファイル関連の制限.....	26
ファイルサイズの制限.....	26
ファイル共有の制限.....	27
Sandbox の制限.....	27
<b>第 2 章: Force.com プラットフォームの制限.....</b>	<b>28</b>
Apex の制限.....	28
Apex ガバナ制限.....	28
API の制限.....	33
API 要求の制限.....	33
Bulk API の制限.....	35
API クエリカーソルの制限.....	36
一部の API コールの制限.....	36
ストリーミング API の制限.....	38
メール制限.....	38
メタデータの制限.....	39
SOQL と SOSL の制限.....	39
Visualforce の制限.....	42



# Salesforce の制限クイックリファレンスガイドの概要

このガイドでは、一般的に参照される Salesforce の制限を取り上げています。

このガイドはすべての制限を網羅しているわけではなく、組織によっては適用されない制限もあります。すべての状況で指定されたリソースが規定の制限まで使用できるとは限りません。たとえば、負荷、パフォーマンスやその他のシステムの問題によってはその制限に達する前に使用できなくなる場合があります。また、このガイドには次の制限は含まれていません。

- Salesforce アプリケーションのユーザインターフェース要素
- Salesforce オブジェクトの項目の長さ
- デスクトップインテグレーションクライアント

# 第1章

## Salesforce アプリケーションの制限

この章には、Salesforce の制限が記載されています。

### Salesforce のエディション別の機能制限


エディション別の Salesforce 機能の制限は次のとおりです。

### Salesforce のエディション別の機能制限一覧

次の表には、Salesforce アプリケーションの一部の機能の制限がエディション別にまとめられています。表の後に脚注があります。この表に含まれていない機能の制限情報は、このガイドの後のセクションを確認してください。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
アクションプラン: ToDo の最大数	なし	なし	なし	なし	75	75	75
有効なルックアップ検索条件	オブジェクトにつき最大 5 項目。	オブジェクトにつき最大 5 項目。	オブジェクトにつき最大 5 項目。	オブジェクトにつき最大 5 項目。	オブジェクトにつき最大 5 項目。	オブジェクトにつき最大 5 項目。	オブジェクトにつき最大 5 項目。
有効な入力規則	なし	オブジェクトにつき最大 20 項目。	オブジェクトにつき最大 20 項目。	オブジェクトにつき最大 20 項目。	オブジェクトにつき最大 100 項目。	オブジェクトにつき最大 500 項目。	オブジェクトにつき最大 100 項目。
添付ファイル:[メモと添付ファイル]関連リストの添付ファイルの最大サイズ <sup>1</sup>	なし	添付ファイル: 5 MB。フィールドの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 5 MB。フィールドの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 5 MB。フィールドの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 5 MB。フィールドの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 5 MB。フィールドの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 5 MB。フィールドの添付ファイル: 2 GB。
カテゴリ: カテゴリおよび階層レベルのデフォルトの最大数	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループ	データカテゴリグループ	データカテゴリグループの 100 カ

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
					プの 100 カテゴリーとデータカテゴリグループの階層の 5 レベル	プの 100 カテゴリーとデータカテゴリグループの階層の 5 レベル	カテゴリとデータカテゴリグループの階層の 5 レベル
カテゴリグループ: カテゴリグループのデフォルトの最大数	なし	なし	なし	なし	カテゴリグループ 5 つおよびアクティブなカテゴリグループ 3 つ	カテゴリグループ 5 つおよびアクティブなカテゴリグループ 3 つ	カテゴリグループ 5 つおよびアクティブなカテゴリグループ 3 つ
証明書: 最大証明書数	なし	なし	なし	なし	50	50	50
コンテンツ配信: 直近 24 時間あたりのデフォルトの配信帯域幅	1 GB	1 GB	1 GB	1 GB	1 GB	1 GB	1 GB
コンテンツ配信: 直近 24 時間あたりのデフォルトの配信参照カウント	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
コンテンツ配信: オンライン参照の最大ファイルサイズ	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB
コンテンツ: 最大ファイルサイズ	すべてのエディション: <ul style="list-style-type: none"> <li>2 GB</li> <li>Google ドキュメント: 10 MB</li> <li>API によるアップロード時: 38 MB</li> <li>Visualforce によるアップロード時: 10 MB</li> </ul>						
コンテンツ: 最大ライブ ラリ数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
コンテンツ: 最大コンテンツドキュメント数	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
コンテンツ: 24 時間あたりのコンテンツドキュメントおよびバージョンの最大数 (調整可能)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	2,500

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
コンテンツパック: 最大 ファイル数	なし	50	50	50	50	50	50
カスタムアプリケーション (AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムアプリケーションが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。)	なし	1	1	5	10	制限なし	10
カスタム項目 (その他の制限が、活動項目、ロングテキストエリア項目、リレーション項目、積み上げ集計項目に適用されます。)	オブジェクトにつき最大 5 項目。	オブジェクトにつき最大 25 項目。	オブジェクトにつき最大 100 項目。	オブジェクトにつき最大 100 項目。	オブジェクトにつき最大 500 項目。	オブジェクトにつき最大 800 項目。	オブジェクトにつき最大 500 項目。
カスタム表示ラベル	なし	なし	なし	5,000	5,000	5,000	5,000
カスタムリンク: リンク ラベルの最大長	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字
カスタムリンク: リンク URL の最大長	3,000 バイト <sup>2</sup>	3,000 バイト <sup>2</sup>	3,000 バイト <sup>2</sup>	3,000 バイト <sup>2</sup>	3,000 バイト <sup>2</sup>	3,000 バイト <sup>2</sup>	3,000 バイト <sup>2</sup>
カスタムオブジェクト (AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムオブジェクトが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。)	なし	5	50	50	200	2,000	400
 メモ: カスタムオブジェクトの制限に近づいて							



機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
いおり、いくつかオブジェクトを削除する必要がある場合、物理削除または消去する必要があります。論理削除したカスタムオブジェクトとそのデータは、制限の対象に含まれます。							
カスタムオブジェクト: なし 主従関係の最大数		2 <sup>3</sup>	2 <sup>3</sup>	2 <sup>3</sup>	2 <sup>3</sup>	2 <sup>3</sup>	2 <sup>3</sup>
カスタムオブジェクト: なし 多対多のリレーションでの親レコードの削除		多対多のリレーションにおいて、関連する連結オブジェクトのレコードが200を超えていて、かつ、他方の親オブジェクトで連結オブジェクトを対象とする積み上げ集計項目が作成されている場合は、親レコードを削除できません。					
カスタム設定: キャッシュデータの制限	10 MB か、1 MB × 組織のフルユーザーライセンス数のいずれか少ない容量	なし	10 MB か、1 MB × 組織のフルユーザーライセンス数のいずれか少ない容量	なし	10 MB か、1 MB × 組織のフルユーザーライセンス数のいずれか少ない容量	10 MB か、1 MB × 組織のフルユーザーライセンス数のいずれか少ない容量	10 MB か、1 MB × 組織のフルユーザーライセンス数のいずれか少ない容量
カスタム設定: カスタム設定あたりの項目の最大数	300	なし	300	なし	300	300	300
ディビジョン: 最大ディビジョン数	なし	なし	なし	100	100	100	なし
ドキュメント: カスタムアプリケーションロゴの最大サイズ	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB
ドキュメント: アップロードするドキュメントの最大サイズ	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
ドキュメント: ファイル名の最大長(ファイル拡張子名を含む)	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字
エンタイトルメントプロセスとマイルストーン	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合、制限は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>20 件のエンタイトルメントプロセス</li> <li>エンタイトルメントプロセスあたり 10 件のマイルストーン</li> </ul> エンタイトルメントプロセスおよびマイルストーンの数増加についての詳細は、salesforce.com にお問い合わせください。		
項目履歴管理: 標準またはカスタムオブジェクトで追跡する標準またはカスタム項目の最大数	なし	20	20	20	20	20	20
ファイル: Chatter および [ファイル] タブの最大ファイルサイズ	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB
会計年度: カスタム会計年度の最大数	250	250	250	250	250	250	250
数式: 最大文字数	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字
数式: 数式の評価後に表示される最大文字数	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字
数式: 保存時の最大数式サイズ(バイト単位)	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト
数式: コンパイル時の最大数式サイズ(バイト単位)	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト
数式: オブジェクトあたりの一意のリレーション数	10	10	10	10	10	10	10

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
数式: VLOOKUP 関数 オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。
アイデア: HTML 形式のアイデアの説明の最大サイズ	なし	なし	なし	32 KB	32 KB	32 KB	32 KB
アイデア: HTML 形式のアイデアのコメントの最大サイズ	なし	なし	なし	4 KB	4 KB	4 KB	4 KB
主従関係: 子レコードの最大数	10,000 <sup>4</sup>	10,000 <sup>4</sup>	10,000 <sup>4</sup>	10,000 <sup>4</sup>	10,000 <sup>4</sup>	10,000 <sup>4</sup>	10,000 <sup>4</sup>
オブジェクト: 削除する結合オブジェクトと子レコードの最大数	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
商談: 商談チームメンバーの最大数	なし	なし	なし	なし	30	30	30
権限セット	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	1,000
質問: 最大文字数	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	なし
質問: 最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)	なし	なし	なし	なし	32,000	32,000	なし
見積 PDF: 最大ロゴサイズ	なし	なし	なし	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB
見積 PDF: ロゴの最大高さ	なし	なし	なし	150 ピクセル	150 ピクセル	150 ピクセル	150 ピクセル
ごみ箱: 最大レコード数	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍
返信: 最大文字数	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	なし
返信 (非公開): 最大文字数 (Chatter アンサーの	なし	なし	なし	なし	4,000	4,000	なし

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
「質問フローを最適化」が有効な場合)							
返信 (公開): 最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)	なし	なし	なし	なし	32,000	32,000	なし
Shared Activities	すべてのエディション: 組織で Shared Activities を有効にしている場合、最大 50 人の取引先責任者を非定期 ToDo、非グループ ToDo、および非定期行動に関連付けることができます。1 人の主取引先責任者を割り当てます。その他はすべて副取引先責任者になります。						
共有ルール	なし	なし	なし	Professional Edition、Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition では、システム管理者はオブジェクトあたり最大 300 個の共有ルールを作成でき、その中には、最大 50 個の条件ベースのルールも含まれます。			
静的リソース	なし	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。	1 つの静的リソースのサイズは、最大 5 MB までです。
		組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。
タブ	なし	3	5	10	25	制限なし	100
(AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムタブが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。)							

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
タグ	<p>すべてのエディションで、ユーザが使用できるタグには、次のような最大数の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人タグの作成数は 500 個まで</li> <li>個人タグのレコードへの適用数は 5,000 件まで</li> </ul> <p>すべてのユーザを対象として、組織で持つことができるそれぞれの最大数は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公開タグの作成数は 1,000 個まで</li> <li>公開タグのレコードへの適用数は 50,000 件まで</li> <li>個人タグと公開タグのレコードへの適用数は 5,000,000 件まで</li> </ul>						
テリトリー: 取引先割り当てルール の最大数	なし	なし	なし	なし	15	15	15
ユーザ: 作成するユーザ の最大数	1	5 Chatter Free ユーザ 5000 人	10 Chatter Free ユーザ 5000 人	制限なし Chatter Free ユーザ 5000 人	制限なし Chatter Free ユーザ 5000 人	制限なし Chatter Free ユーザ 5000 人	2 Chatter Free ユーザ 5000 人
Visual Workflow	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合、各フローの制限は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>50 のバージョン</li> <li>2000 ステップ</li> </ul> 各組織の制限は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>500 の有効なフロー</li> <li>1000 の合計フロー</li> </ul>		
Web-to-ケース: 24 時間 あたりの生成する新規 ケースの最大件数	なし	なし	なし	5,000 <sup>5</sup>	5,000 <sup>5</sup>	5,000 <sup>5</sup>	5,000 <sup>5</sup>
Web-to-リード: 24 時間 あたりの生成する新規 リードの最大件数	なし	なし	なし	500 <sup>5</sup>	500 <sup>5</sup>	500 <sup>5</sup>	500 <sup>5</sup>

<sup>1</sup> ケース、ソリューション、キャンペーン、ToDo、または行動の [添付ファイル] 関連リストか、取引先、取引先責任者、リード、商談、またはカスタムオブジェクトの [メモ & 添付ファイル] 関連リストに添付ファイルを追加できます。ToDo の関連リストまたは行動ページレイアウトが表示されない場合は、追加するようシステム

管理者に、Web-to-リードシートという形式をサポートします。

<sup>2</sup> データは、Salesforce.com の Web-to-リードシートに格納されます。使用中のブラウザで、Salesforce.com の Web-to-リードシートにアクセスできます。

<sup>3</sup> それぞれのサレーンションは、規定されているカスタム項目に格納されます。

<sup>4</sup> ベストプラクティスとして、主従関係の子レコードは 10,000 を超えることはできません。

<sup>5</sup> 組織が毎日の Web-to-ケースまたは Web-to-リードの制限数を超えた場合、デフォルトのケース所有者またはデフォルトのリード作成者にケースまたはリードの情報を含む通知メールが送信されます。組織が 24 時間の制限に達した場合は、salesforce.com では Web-to-ケース要求および Web-to-リード要求の両方を含む待機中の要求のキューに追加の要求を格納します。要求は制限が更新されると提出されます。待機中の要求のキューの制限は合計 50,000 件です。組織が待機中の要求の制限に達すると、制限を超える要求は却下され、キューに入れられません。システム管理者は、提出が却下された最初の 5 件のメールに関して通知を受け取ります。組織の待機中の要求の制限を変更するには、salesforce.com カスタマサポートにお問い合わせください。

分析の制限

Development	

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
カスタムレポートタイプ (制限は、開発状況に関係なく、すべてのカスタムレポートタイプに適用される)	なし	なし	なし	50	200	2,000	400
分析スナップショット	なし	なし	なし	1 時間あたり 1 <sup>2</sup> (ピーク時間以外のみ <sup>3</sup> )  (1 日あたり希望開始時刻は 1 個に制限され、変更はできない)	1 時間あたり 1 <sup>2</sup>	1 時間あたり 2 <sup>2</sup>	1 時間あたり 1 <sup>2</sup> (ピーク時間以外のみ <sup>3</sup> )  (1 日あたり希望開始時刻は 1 個に制限され、変更はできない)

<sup>1</sup> これらの制限はレポートビルダーに適用されます。レポートウィザードを使用している場合、制限は 10 です。

<sup>2</sup> 合計で 200 まで可能。

<sup>3</sup> ピーク時以外の時間帯とは、ローカル時間の午後 6 時 ~ 午前 3 時です。

## キャンペーンの制限

使用可能なエディション: Professional Edition、Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、および Developer Edition

取引先責任者をキャンペーンに追加する		
取引先責任者ソース	推奨されるキャンペーンメンバーツール	最大レコード数
既存の取引先責任者のレポート	レポートからのキャンペーンメンバーの追加	1 レポートにつき 50,000 件
既存の取引先責任者の CSV ファイル	キャンペーン更新ウィザード	1 インポートファイルにつき 50,000 件
既存の取引先責任者のリストビュー	リストビューからのキャンペーンメンバーの追加	1 リストページにつき 250 件

取引先責任者をキャンペーンに追加する		
取引先責任者ソース	推奨されるキャンペーンメンバー ツール	最大レコード数
個別の取引先責任者の詳細ページ	個々のキャンペーンメンバーの追加、編集、またはコピー	1

リードをキャンペーンに追加する		
リードソース	推奨されるキャンペーンメンバー ツール	最大レコード数
既存のリードのレポート	レポートからのキャンペーンメンバーの追加	1 レポートにつき 50,000 件
新規リード一覧の CSV ファイル	キャンペーンでのリードインポートウィザードの使用	1 インポートファイルにつき 50,000 件
既存のリードのリストビュー	リストビューからのキャンペーンメンバーの追加	1 リストページにつき 250 件
個別のリードの詳細ページ	個々のキャンペーンメンバーの追加、編集、またはコピー	1

#### キャンペーン影響期間

キャンペーン影響期間条件は、最大 9,999 日です。

#### キャンペーン階層

階層には、最大 5 レベルを含めることができます。各キャンペーンに対して設定できる親キャンペーンは 1 つだけですが、子キャンペーンの数は無制限です。

## Chatter の制限

機能	制限
フォローできる人、トピック、およびレコード	500
参加可能なグループ	100  アーカイブ済みグループを含む、すべての Chatter グループはこの制限にカウントされます。たとえば、90 グループ(そのうち 10 グループはアーカイブ済み)のメンバーになっている場合、参加を要求できるのは残り 10 グループのみです。
組織内のグループ	10,000  アーカイブ済みグループを含む、すべての Chatter グループはこの制限にカウントされます。



機能	制限
グループのメンバー	制限なし
1 つの投稿またはコメント内のメンション	25
1 つの投稿またはコメント内の文字数	5,000
Chatter メッセージの文字数	10,000
投稿に対していいね!と言ったか、コメントした後に送信されるメール通知の件数	10
ファイル添付サイズ	2 GB
ファイルを共有できる回数	100
ブックマーク	制限なし
お気に入り	50
プロフィール写真のサイズ	8 MB
チャットに追加できるユーザ数	10
チャットの [私のお気に入り] に追加できるユーザ数	100
1 つの投稿でのトピック数	10
トピック名の文字数	99

Chatter Plus 機能	制限
組織の Chatter Plus ライセンス	制限なし
Chatter Plus ユーザあたりのデータストレージ	20 MB
Chatter Plus ユーザあたりのファイルストレージ	612 MB

さらに、Salesforce は次の制限を適用する権利を有します。

- Salesforce サーバに投稿、コメント、項目変更の追跡が保存される期間。
- Chatter フィードで使用できる投稿、コメント、項目変更の追跡の数。現在追跡されている項目で、いいね!もコメントもないものは、45 日が経過するとフィードから削除されます。
- 1 組織が 1 時間あたりに送信できるメール通知の数。

これらの制限は、今後予告なく変更される可能性があります。詳細は、[salesforce.com](https://salesforce.com) にお問い合わせください。

### Chatter コンテンツ検索の制限

検索では、複数のファイル形式をサポートされ、ファイルサイズに制限があります。ファイルが最大サイズを超える場合、そのファイル内のテキストは検索されませんが、ファイルの名前、説明、種類、および所有者は検索されます。

ファイルの種類	ファイル拡張子	ファイル内のテキストを検索可能にする場合の最大ファイルサイズ
HTML	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.ppt、.pptx、.pptm	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
テキスト	.c、.cpp、.css、.csv、.ini、 .java、.log、.sql、.txt	5 MB
Word	.doc、.docx、.docm	25 MB
XML	.xml	5 MB
XLS	.xls、.xlsx、.xlsm	5 MB

## カスタム項目の制限

使用可能なエディション: すべてのエディション

標準項目とページレイアウトは、Database.com では利用できません。

オブジェクトあたりの使用できるカスタム項目数は、Salesforceのエディションによって異なります。活動項目、ロングテキストエリア項目、リッチテキストエリア項目、リレーション項目、および積み上げ集計項目の最大数も同様に異なります。次の表に、各カスタム項目のデータ型およびエディションの最大制限を示します。

カスタム項目の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
活動	なし	なし	なし	20	100	100	100
ロングテキストエリア項目	項目のタイプに関係なく、オブジェクトに許可されるカスタム項目の合計数に関するエディションの制限は適用されますが、リッチテキストエリアやロングテキストエリア項目への制限はなくなりました。各オブジェクトは、ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目で合計 160 万文字を使用できます。ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目のデフォルトの文字数制限は、32,768 文字です。ロングテキストエリア項目またはリッチテキストエリア項目には、少なくとも 256 文字を使用する必要があります。  リッチテキストエリア項目にアップロードできる画像の最大サイズは 1 MB です。						
リッチテキストエリア項目							
リレーション項目	なし	25	25	25	25	25	25
積み上げ集計項目	なし	10	10	10	10	10	10

## メール制限

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
メールテンプレート: 最大サイズ	テキスト メールテンプレート: 384 KB	・ テキスト、HTML、およびカスタム HTML テンプレート: 384 KB ・ Visualforce テンプレート: 1 MB					
Salesforce へのメールの送信	すべてのエディション: <ul style="list-style-type: none"> <li>メール本文切り捨てサイズ: 32 KB</li> <li>受信したメールごとに作成されるメール活動の最大数: 50</li> <li>1つの添付ファイルの最大サイズ: 5 MB</li> <li>添付ファイルの最大合計サイズ: 10 MB</li> </ul>						
メールサービス: 処理されるメールメッセージの最大数	なし	なし	なし	ユーザライセンス数 × 1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1日あたりの最大数 1,000,000
メールサービス: メールメッセージの最大サイズ(本文および添付ファイル)	なし	なし	なし	10 MB <sup>1</sup>	10 MB <sup>1</sup>	10 MB <sup>1</sup>	10 MB <sup>1</sup>
メール-to-ケース: 1日あたりの変換するメールの最大数	なし	なし	なし	添付ファイル: 5 MB。フィードの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 5 MB。フィードの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 5 MB。フィードの添付ファイル: 2 GB。	添付ファイル: 5 MB。フィードの添付ファイル: 2 GB。
拡張差し込み印刷: 最大レコード数	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
拡張差し込み印刷: 選択したテンプレートの最大合計サイズ	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB
差し込み項目: Case.Email_Thread	なし	なし	Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合: <ul style="list-style-type: none"> <li>最大メール数: 200</li> <li>メール本文切り捨てサイズ: 32 KB</li> </ul>				

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
オンデマンドメール-to-ケース: メールへの添付ファイルの最大サイズ	なし	なし	なし	10 MB	10 MB	10 MB	10 MB
オンデマンドメール-to-ケース: 処理されるメールメッセージの最大数 (メールサービスの制限に対してカウントする)	なし	なし	なし	ユーザライセンス数 × 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数 × 1,000、1 日あたりの最大数 1,000,000

<sup>1</sup> メールサービスのメールメッセージの最大数は、言語および文字セットによって異なります。

## Salesforce ナレッジの制限

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
最大記事数	なし	なし	なし	なし	10,000 個の記事		
最大記事タイプ	なし	なし	なし	なし	100 個の記事タイプ		
	なし	なし	なし	なし	記事タイプあたり 500 個のカスタム項目		

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
記事のインポート	なし	なし	なし	なし	インポート .zip ファイルは次の要件を満たす必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• .csv ファイルと .properties ファイルをそれぞれ1つのみ含むことができる。</li> <li>• .csv ファイルと .properties ファイルがルートディレクトリに配置されている必要がある。</li> <li>• 圧縮プロセスでフォルダとサブフォルダの構造を維持する必要がある。</li> <li>• .zip ファイルが 10 MB を超えていないこと。非圧縮ファイルが 100 MB を超えていないこと。</li> <li>• ヘッダー行を含め .csv ファイルに 10,000 を超える行を含めることはできません。したがって、最大 9,999 個の記事と翻訳を含めることができます。</li> <li>• .csv ファイルの行が 400,000 文字を超えることはできません。</li> <li>• .csv ファイルのセルが 32 KB を超えることはできません。</li> <li>• .csv ファイルの各記事に 50 以上の翻訳を含めることはできません。</li> </ul>		
最大データカテゴリグループ数および有効なデータカテゴリグループ	なし	なし	なし	なし	カテゴリグループ 5 つおよびアクティブなカテゴリグループ 3 つ		
データカテゴリグループあたりの最大カテゴリ数	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループに 100 個のカテゴリ		
データカテゴリグループ階層あたりの最大レベル数	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループ階層に 5 個のレベル		
記事に割り当てられたデータカテゴリ	なし	なし	なし	なし	記事に割り当てられたデータカテゴリグループの 8 個のデータカテゴリ		

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
リグループの最大データカテゴリ数							

## 選択リストの制限

使用可能なエディション: すべてのエディション  
標準選択リストは、Database.com では使用できません。

選択リスト内の最大エン트리数は、選択リストに許容される合計文字数(15,000 文字)によって決まります。各エン 트리には、非表示の改行と復帰の記号が含まれます。エン 트리ごとに追加されるこの 2 文字も、15,000 文字の制限に数えられます。

### 標準選択リストのその他の制限

標準選択リストの場合、エン 트리には改行と復帰を除く最大 40 文字を含めることができます。標準複数選択リストでは、すべてのエン トリの合計文字数は 255 文字を超えることはできません。

レコードタイプまたはトランスレーションワークベンチを使用する組織の標準選択リストの場合、特殊な選択リストの次の例外を除き、エン 트리数に制限はありません。

選択リスト項目	最大エン 트리数
リード状況	100
ToDo の状況	100
ToDo の優先度	50
ケースの状況	100
ケース優先度	50
商談フェーズ	100

### カスタム選択リストのその他の制限

合計 15,000 文字の範囲内で、カスタム選択リストには次の制限があります。

- 最大 1,000 個のエン 트리
- エン 트리あたり最大 255 文字

複数選択のカスタム選択リストの場合は次のようになります。

- 最大 150 個の値
- 値あたり最大 40 文字

複数選択リストの場合、ユーザは 1 レコードに対し一度に最大 100 個の値を選択できます。

## サイトの制限

使用可能なエディション: Developer Edition、Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition

エディション	最大サイト数	帯域幅制限(直近の24時間/ サイトあたり)	サービス要求時間(直近の 24時間/サイトあたり)	最大ページビュー
Developer Edition	1	500 MB	10 分	なし
Enterprise Edition	25	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	500,000
Unlimited Edition	25	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	1,000,000
Performance Edition				

## ワークフローと承認の制限

ワークフローと承認の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
承認プロセス	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合、各承認プロセスの制限は次のとおりです。		
					<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセスあたり 30 個のステップ</li> <li>ステップあたり 25 個 (人) の承認</li> </ul>		
					各組織の制限は次のとおりです。		
					<ul style="list-style-type: none"> <li>オブジェクトあたり 300 個の承認プロセス</li> <li>1 組織につき 1,000 個のプロセス</li> </ul>		
承認申請コメント: 最大文字数	なし	なし	なし	なし	承認申請のコメントは 4,000 文字に制限されています。中国語、日本語、または韓国語の場合は 1,333 文字に制限されます。		
ワークフロールールと承認プロセス	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition		

ワークフローと承認の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
					<p>の場合、各ワークフロールールと承認プロセスの制限は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大 10 回のトリガ</li> <li>最大 40 回のルール適用時のアクション</li> <li>タイムトリガごとの最大 40 回の時間ベースのアクション</li> </ul> <p>ルール適用時のアクションと時間ベースのアクションの両方については、さらに次の条件があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大 10 回のメールアラート</li> <li>最大 10 件の ToDo</li> <li>最大 10 項目の更新</li> <li>最大 10 件のアウトバウンドメッセージ</li> </ul>		
1 時間のワークフロータイムトリガ	なし	なし	なし	250 (ワークフローは Professional Edition のアドオン機能として利用できます。)	500	50	1,000
1 日あたりのワークフローメール	なし	なし	なし	なし	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件
					1 組織につき 2,000,000 件	1 組織につき 2,000,000 件	1 組織につき 2,000,000 件

### ワークフローアラートメール: 日次ワークフローのアラートメール制限

ワークフローおよび承認関連のメールアラートから送信されるメールの 1 日あたりの制限は、組織の標準 Salesforce ライセンスあたり 1,000 です。組織全体での制限は 2,000,000 です。1 日あたりの制限に到達すると、警告メールがデフォルトのワークフローユーザに送信されます。デフォルトのワークフローユーザが設定されていない場合、警告メールは有効なシステム管理者に送信されます。



組織の制限に到達すると、日次ワークフローメールの制限は次のようになります。

- ・ ワークフローキュー内に残っており、その日に送信されないメールは破棄されます。Salesforce ではこれらのメールを後で再送信しません。
- ・ アクションを伴うワークフロールールとメールアラートが起動された場合、メールアクションのみがブロックされます。
- ・ 最終承認、最終却下、承認、却下、メール取り消しアクションはブロックされます。
- ・ エラーメッセージがデバッグログに追加されます。

次の項目は、ワークフローメール制限にはカウントされません。

- ・ 承認通知メール
- ・ ToDo 割り当て通知
- ・ リードの割り当てルール通知
- ・ ケースの割り当てルール通知
- ・ ケースのエスカレーションルール通知
- ・ Force.com サイトの利用状況のアラート

制限は、GMT の午前 0 時に開始および終了する 24 時間の活動に基づいています。ユーザライセンスを追加または削除すると、制限数の合計がすぐに調整されます。メールアラートをグループに送信すると、そのグループのすべての受信者が 1 日あたりのワークフローメール制限としてカウントされます。

## データ関連の制限

Salesforce に保存されるデータに関連する制限は次のとおりです。

### 日付: 日付項目の有効範囲

特定の範囲内の日付のみが有効です。最も早い有効な日付は 1700-01-01T00:00:00Z GMT、つまり、1700 年 1 月 1 日の午前 0 時です。有効な日付の最大値は 4000-12-31T00:00:00Z GMT、つまり、4000 年 12 月 31 日の午前 0 時です。これらの値は、タイムゾーンごとのオフセットとなります。たとえば、太平洋タイムゾーンでは、最も早い有効な日付は 1699-12-31T16:00:00、つまり 1699 年 12 月 31 日の午後 4 時です。

### インポートの制限

次の表は、レコードタイプ別のインポートの制限と、インポートに必要な権限の一覧です。

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	アクセスを許可されるユーザ
自分が所有する法人取引先と取引先責任者	一度に 500 件	すべてのユーザ
別のユーザが所有する法人取引先と取引先責任者	一度に 50,000 件	管理者、 「すべてのデータの編集」権限を持つユーザ
自分が所有する個人取引先	一度に 50,000 件	すべてのユーザ

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	アクセスを許可されるユーザ
別のユーザが所有する個人取引先	一度に 50,000 件	管理者、 「個人取引先のインポート」権限を持つユーザ
リード	一度に 50,000 件	管理者、 リードの「参照」、「作成」および「編集」および「リードのインポート」権限を持つユーザ
キャンペーンメンバー	新規キャンペーンメンバーとしてインポートできるリードおよび既存のキャンペーンメンバー状況の更新 50,000 件	管理者、 マーケティングユーザ(または「リードのインポート」権限、およびキャンペーンに対する「編集」権限を持つユーザ)は、新規リードをキャンペーンメンバーとしてインポートできます。キャンペーン更新ウィザードを使用して既存のリードと取引先責任者をキャンペーンメンバーにするには、取引先責任者に対する「参照」権限も必要です。
カスタムオブジェクト	一度に 50,000 件	管理者、 「すべてのデータの編集」権限を持つユーザ
ソリューション	一度に 50,000 件	管理者、 「ソリューションのインポート」権限を持つユーザ
納入商品 ケース キャンペーン 契約 ドキュメント 商談 商品	これらのレコードは、インポートウィザードでインポートできません。	



メモ: インポートファイルのサイズは100MBを超えることはできません。ファイルの各レコードは400KBを超えることはできません。また、インポートされるメモと説明はそれぞれ、32KBを超えることはできません。32KB より長い説明は切り捨てられます。

## ルールの制限

Salesforce エディションによって、さまざまな種類のルールに制限がある場合があります。次の表に、各エディションに対する制限を示します。

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Performance Edition
有効なルール  (制限は、有効なワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)	利用不可	利用不可	利用不可	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。
許可されたルール数合計  (制限は、有効または無効両方のワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)	利用不可	利用不可	利用不可	オブジェクトにつき最大 300 項目。  1 組織につき 1,000 件。	オブジェクトにつき最大 300 項目。  1 組織につき 1,000 件。	オブジェクトにつき最大 300 項目。  1 組織につき 1,000 件。	オブジェクトにつき最大 300 項目。  1 組織につき 1,000 件。

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition	Performance Edition
割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルール	利用不可	利用不可	利用不可	Professional Edition、Enterprise Edition、Developer Edition、Unlimited Edition、Performance Edition の場合、それぞれの割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの制限は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>3,000 件のエントリ</li> <li>300 件の数式条件エントリ</li> <li>エントリごとに 25 件の検索条件</li> </ul>				
ルールあたりの使用できるアクションの合計	利用不可	利用不可	利用不可	200	200	200	200	200

## 検索の制限

使用可能なエディション: Database.com を除くすべてのエディション

検索では、次のファイル拡張子と最大ファイルサイズがサポートされています。

ファイルの種類	ファイル拡張子	最大サイズ
HTML(<body> タグ内のテキストのみ)	.htm	5,120 KB
	.html	
	.xhtml	
PDF	.pdf	25,600 KB
PPT	.pot	25,600 KB
	.pps	
	.ppt	
RTF	.rtf	5,120 KB
テキスト	.c	5,120 KB
	.cpp	
	.css	
	.csv	
	.ini	

ファイルの種類	ファイル拡張子	最大サイズ
	.java	
	.log	
	.sql	
	.txt	
Word	.doc	25,600 KB
	.dot	
XLS	.xls	5,120 KB、または最大 100,000 セル
	.xlt	
XML	.xml	5,120 KB



メモ: 最大サイズを超えるドキュメントの内容は検索できません。ただし、ドキュメント項目は検索されます。最初の 100 万文字のみが検索されます。この制限以降のテキストは検索に含まれません。

## ストレージ容量の制限

### ストレージ容量

各エディションには、最小量のデータストレージとファイルストレージが含まれています。Professional Edition、Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition では、ユーザあたりのストレージ容量に組織のユーザ数を掛けたストレージ容量が割り当てられます(その計算結果が最小ストレージ容量より大きい場合)。データストレージを例として使用すると、600 人のユーザがいる Enterprise Edition 組織の場合は、ユーザあたりのストレージ容量 20 MB x ユーザ数 600 = 12,000 MB になるため、12,000 MB (12 GB) のデータストレージが割り当てられることになります。20 人のユーザがいる Professional Edition 組織などの小規模な組織の場合は、ユーザあたりのストレージ容量 20 MB x ユーザ数 20 = 400 MB となり 1 GB の最小ストレージ容量を下回るため、1 GB のデータストレージがすべての Professional Edition 組織に割り当てられます。

以下の [ユーザごとの追加容量の割り当て] 列の値が Salesforce と Salesforce Platform ユーザライセンスに適用されます。



メモ: 追加ストレージを提供している唯一の機能ライセンスは、Salesforce CRM Content ユーザです。Salesforce CRM Content が有効であるかどうかにかかわらず、各 Salesforce CRM Content ユーザライセンスに追加のファイルストレージ 512 MB が割り当てられ、ユーザあたりのファイルストレージの割り当ての合計は 612 MB になります。組織で Salesforce CRM Content が有効であるかどうかを確認するには、システム管理者にお問い合わせください。

Salesforce のエディション	組織あたりの最小データストレージ	組織あたりの最小ファイルストレージ	ユーザライセンスあたりのストレージ割り当て
Personal	20 MB (約 10,000 レコード)	20 MB	なし

Salesforce のエディション	組織あたりの最小データストレージ	組織あたりの最小ファイルストレージ	ユーザライセンスあたりのストレージ割り当て
Contact Manager	1 GB	11 GB	データストレージ 20 MB とファイルストレージ 612 MB
Group	1 GB	11 GB	データストレージ 20 MB とファイルストレージ 612 MB
Professional	1 GB	11 GB	データストレージ 20 MB とファイルストレージ 612 MB
Enterprise	1 GB、さらに各 Gold Partner ライセンスにつきプラス 5 MB	11 GB	データストレージ 20 MB とファイルストレージ 612 MB
Unlimited パフォーマンス	1 GB、さらに各 Gold Partner ライセンスにつきプラス 5 MB	11 GB	データストレージ 120 MB とファイルストレージ 612 MB
Developer	5 MB	20 MB	なし

カスタムユーザライセンスを使用している組織の場合、追加ストレージが提供されるかどうかについては、salesforce.com までお問い合わせください。ユーザライセンスについての説明は、Salesforce ヘルプの「ユーザライセンスの種類」を参照してください。

## ファイル関連の制限

Salesforce に保存されるファイルに関連する制限は次のとおりです。

## ファイルサイズの制限

Salesforce のファイルの最大ファイルサイズ制限は次のとおりです。

機能	[ファイル] タブと Chatter	Salesforce CRM Content	Salesforce ナレッジ	[ドキュメント] タブ	[添付ファイル] 関連リスト
最大ファイルサイズ	2 GB	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 GB</li> <li>Google ドキュメント: 10 MB</li> <li>API によるアップロード時: 38 MB</li> <li>Visualforce によるアップロード時: 10 MB</li> </ul>	添付ファイル: 5 MB	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 MB</li> <li>カスタムアプリケーション ログ: 20 KB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>添付ファイル: 5 MB</li> <li>フィードの添付ファイル: 2 GB</li> <li>メールに添付されたファイル: 10 MB</li> </ul>

## ファイル共有の制限

ファイルは最大100回まで共有できます。これには、人およびグループと共有するファイル、およびリンクで共有するファイルが含まれます。ファイルの非公開での共有が最大共有回数の100に近くなった場合は、ファイルをフィードに投稿して公開することを検討します。

## Sandbox の制限

- Full Sandbox は、作成または最終更新から 29 日経過すると更新できます。Full Sandbox をその 29 日以内に削除した場合、最終更新または作成から 29 日間経過するまで待ってから置き換える必要があります。
- Partial Data Sandbox は、作成または最終更新から 5 日経過すると更新できます。Partial Data Sandbox をその 5 日以内に削除した場合、最終更新または作成から 5 日間経過するまで待ってから置き換える必要があります。
- Developer または Developer Pro Sandbox は 1 日に 1 回更新できます。
- Enterprise Edition には、Developer Sandbox 1 個のライセンスが含まれています。
- Performance Edition には、Full Sandbox 1 個、Partial Data Sandbox 1 個、Developer Pro Sandbox 5 個、Developer Sandbox 30 個のライセンスが含まれています。
- Unlimited Edition には、Full Sandbox 1 個、Developer Pro Sandbox 5 個、Developer Sandbox 15 個のライセンスが含まれています。
- 追加の Sandbox のライセンスが必要な場合は、salesforce.com にご連絡いただき、組織の Sandbox をご注文ください。

### Sandbox のディスク使用制限

- Partial Data Sandbox のディスク使用制限は 5 GB です。
- Developer Pro Sandbox のディスク使用制限は 1 GB です。
- Developer Sandbox のディスク使用制限は 200 MB です。
- Full Sandbox のディスク使用制限は、本番組織での制限と同じです。
- Sandbox は、ディスク使用制限に達してもメール通知を送信しません。ただし、Sandbox のディスク使用制限に達すると、Sandbox に新しいデータを保存することはできません。ディスク使用制限を確認するには、Sandbox で [設定] から [データの管理] > [組織のディスク使用量] をクリックします。

## 第2章

# Force.com プラットフォームの制限

この章には、Force.com プラットフォームの制限が記載されています。

## Apex の制限

使用可能なエディション: Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition、Enterprise Edition、および Database.com Edition

次の Apex ガバナ制限があります。

## Apex ガバナ制限

Apex はマルチテナント環境で実行するため、Apex ランタイムエンジンは、回避 Apex が共有リソースを独占しないようさまざまな制限事項を強制します。

### トランザクション単位の Apex 制限

これらの制限は、Apex トランザクション単位でカウントされます。Apex の一括処理の場合、これらの制限は `execute` メソッドでレコードのバッチの実行ごとにリセットされます。

次の表では、同期 Apex と非同期 Apex (Apex の一括処理と `future` メソッド) が異なる場合、それぞれの制限を記載しています。制限が同じ場合、表には、同期および非同期 Apex の両方に適用される 1 つの制限のみが記載されます。

説明	同期 Apex の制限	非同期 Apex の制限
発行される SOQL クエリの合計数 <sup>1</sup>	100	200
SOQL クエリによって取得されるレコードの合計数	50,000	
<code>Database.getQueryLocator</code> によって取得されるレコードの合計数	10,000	
発行される SOSL クエリの合計数	20	
1 つの SOSL クエリによって取得されるレコードの合計数	2,000	
発行される DML ステートメントの合計数 <sup>2</sup>	150	
DML ステートメント、 <code>Approval.process</code> 、または <code>database.emptyRecycleBin</code> の結果として処理されるレコードの合計数	10,000	



説明	同期 Apex の制限	非同期 Apex の制限
<code>insert</code> 、 <code>update</code> 、または <code>delete</code> ステートメントによって繰り返しトリガする Apex 呼び出しのスタックの深さの合計 <sup>3</sup>	16	
トランザクション内のコールアウト (HTTP 要求または Web サービスコール) の合計数	10	
トランザクション内のすべてのコールアウト (HTTP 要求または Web サービスコール) の最大タイムアウト値	120 秒	
Apex 呼び出し 1 回につき許可される <code>future</code> アノテーションを持つメソッドの合計数	10	
許可される <code>sendEmail</code> メソッドの合計数	10	
使用できる定義の合計数 <sup>4</sup>	100	
ヒープの合計サイズ <sup>5</sup>	6 MB	12 MB
Salesforce サーバの最大 CPU 時間 <sup>6</sup>	10,000 ミリ秒	60,000 ミリ秒
Apex トランザクションごとの最大実行時間	10 分	
参照される一意の名前空間の最大数 <sup>7</sup>	10	

<sup>1</sup> 親-子リレーションのサブクエリを使用する SOQL クエリでは、各親-子リレーションは追加クエリとしてカウントされます。これらのクエリタイプには、最上位クエリ数の 3 倍に制限されています。これらのリレーションクエリの行数は、全体のコード実行の行数に加算されます。静的 SOQL ステートメントの他、次のメソッドへのコールは、要求内で発行された SOQL ステートメント数としてカウントされます。

- `Database.countQuery`
- `Database.getQueryLocator`
- `Database.query`

<sup>2</sup> 次のメソッドへのコールは、要求内で発行された DML クエリ数としてカウントされます。

- `Approval.process`
- `Database.convertLead`
- `Database.emptyRecycleBin`
- `Database.rollback`
- `Database.setSavePoint`
- `delete` と `Database.delete`
- `insert` と `Database.insert`
- `merge` および `Database.merge`
- `undelete` と `Database.undelete`
- `update` と `Database.update`
- `upsert` と `Database.upsert`
- `System.runAs`

<sup>3</sup> `insert`、`update`、または `delete` ステートメントによってトリガを実行しない繰り返し Apex 処理は、1 つのスタックを使用する 1 つの呼び出し内に存在します。それに対し、トリガを実行した繰り返し Apex では、コードを実行した呼び出しとは別の新しい Apex 呼び出しでトリガが発生します。Apex の新しい呼び出しの実行は、

1つの呼び出しでの繰り返しコールよりも手間のかかる操作であるため、これらの種類の繰り返しコールのスタックの深さには、より厳しいトリガ制限があります。

<sup>4</sup> 定義には、次のメソッドおよびオブジェクトが含まれます。

- ChildRelationship オブジェクト
- RecordTypeInfo オブジェクト
- PicklistEntry オブジェクト
- fields コール
- fieldsets コール

<sup>5</sup> メールサービスのヒープサイズは 36 MB です。

<sup>6</sup> CPU 時間は、1つの Apex トランザクションで発生する Salesforce アプリケーションサーバ上でのすべての実行 (Apex コードや、このコードからコールされるすべてのプロセス (パッケージコードやワークフローなど) の実行) に対して計算されます。CPU 時間は、1つの トランザクション専用であり、他の トランザクションからは独立しています。アプリケーションサーバの CPU 時間を消費しない操作は、CPU 時間には加算されません。たとえば、実行時間のうち DML、SOQL、および SOSL 用のデータベースに費やされた時間や、Apex コールアウトの待ち時間はカウントされません。

<sup>7</sup> 1つの トランザクションでは、10 個の一意の名前空間のみを参照できます。たとえば、オブジェクトを更新するときに、管理パッケージでクラスを実行するオブジェクトがあるとして。その後、クラスは 2 番目のオブジェクトを更新します。つまり、他のパッケージの他のクラスを実行します。最初に 2 番目のパッケージに直接アクセスしない場合でも、同じ トランザクション内で発生するため、1つの トランザクションでアクセスする名前空間の数に含まれます。



メモ:

- 制限は、各 `testMethod` に対して個別に適用されます。
- 実行中にコードのコード実行制限を決定するには、Limits メソッドを使用します。たとえば、プログラムによってすでにコールされた DML ステートメント数を決定するには、`getDMLStatements` メソッドを使用できます。または、コードに使用できる DML ステートメントの合計数を決定するには、`getLimitDMLStatements` メソッドを使用できます。

## トランザクション単位の認定管理パッケージの制限

認定管理パッケージ (AppExchange のセキュリティレビューに合格した管理パッケージ) には、一部の制限を除き、トランザクション単位の制限に対して独自の制限セットが設けられます。認定管理パッケージは Salesforce.com ISV パートナーによって開発されたもので Force.com AppExchange から組織にインストールでき、一意の名前空間を持ちます。

ここでは、DML ステートメントについて、認定管理パッケージに個別に適用される制限の例を説明します。認定管理パッケージをインストールすると、そのパッケージ内のすべての Apex コードには、組織のネイティブコードが実行できる 150 個の DML ステートメントに加え、独自に 150 個の DML ステートメントの制限が適用されます。このため、管理パッケージのコードと組織のネイティブコードの両方が実行されると、1つの トランザクションで 150 個を超える DML ステートメントが実行される場合があります。同様に、認定管理パッケージには、同期 Apex について、組織のネイティブコードの 100 個の SOQL クエリ制限に加え、独自に 100 個の SOQL クエリ制限が適用されます。他の制限についても同様です。

認定管理パッケージでは、次を除くすべての トランザクション単位の制限は個別にカウントされます。

- ヒープの合計サイズ
- 最大 CPU 時間

- 最大トランザクション実行時間
- 一意の名前空間の最大数

これらの制限は、同じトランザクションで実行されている認定管理パッケージの数に関係なく、トランザクション全体に対してカウントされます。

また、AppExchange から Salesforce.com ISV パートナー以外が作成した未認定のパッケージをインストールする場合、そのパッケージのコードには、個別に独自のガバナ制限数はありません。使用するリソースは、組織の合計数に含まれます。累積リソースメッセージと警告メールも、管理パッケージの名前空間に基づいて生成されます。

salesforce.com ISV パートナーパッケージについての詳細は、「[salesforce.com Partner Programs](#)」を参照してください。

## Force.com プラットフォームの Apex 制限

次の表の制限は、Apex トランザクションに固有ではなく、Force.com プラットフォームによって適用されます。

説明	制限
24 時間あたりの非同期 Apex メソッド実行 (Apex の一括処理、future メソッド、およびスケジュール済み Apex) の最大数 <sup>1</sup>	250,000 か、組織内のユーザーライセンス数 × 200 のいずれか大きい方の値
組織ごとの、5 秒以上かかる長時間の要求に対する同期同時要求数。 <sup>2</sup>	10
同じホストの URL へのコールアウト要求の最大同時要求数 <sup>3</sup>	20
同時にスケジュールされる Apex クラスの最大数	100
同時に実行される Apex の一括処理ジョブの最大数	5
Apex の一括処理ジョブの start メソッドの最大同時実行数 <sup>4</sup>	1
24 時間でキューできるテストクラスの合計数 <sup>5</sup>	500 または組織のテストクラス数の 10 倍の大きいほう
ユーザごとに同時に開くクエリカーソルの最大数 <sup>6</sup>	50
Apex 一括処理の start メソッドでユーザごとに同時に開くクエリカーソルの最大数	15
Apex 一括処理の execute および finish メソッドでユーザごとに同時に開くクエリカーソルの最大数	5

<sup>1</sup> Apex の一括処理の場合、メソッド実行には、start、execute、および finish メソッドの実行が含まれます。これは組織全体の制限で、他のすべての非同期 Apex (Apex の一括処理、スケジュール済み Apex、および future メソッド) と共有されます。この制限のカウント対象となるライセンスは、Salesforce フルユーザーライセンスまたは Force.com アプリケーションサブスクリプションのユーザーライセンスです。Chatter Free、Chatter カスタマーユーザ、カスタマーポータルユーザ、およびパートナーポータルユーザーライセンスは含まれません。

<sup>2</sup> 10 個の長時間の要求が実行されている間に追加の要求を行うと、要求は拒否されます。

<sup>3</sup> ホストは URL の一意のサブドメインで定義されます。たとえば、www.mysite.com と extra.mysite.com は 2 つの異なるホストです。この制限は、同じホストにアクセスするすべての組織で計算されます。この制限を超えると、CalloutException が発生します。

<sup>4</sup> キュー内のまだ開始されていない一括処理ジョブは、開始されるまで保持されます。なお、この制限により一括処理ジョブが失敗することはありません。また、複数のジョブが実行されている場合は、Apex の一括処理ジョブの `execute` メソッドが並行して実行されます。

<sup>5</sup> この制限は、テストの非同期実行に適用されます。これには、開発者コンソールを含め、Salesforce ユーザインターフェースから開始するテストが含まれます。

<sup>6</sup> たとえば、50 個のカーソルが開いていて、同じユーザとしてログインしたままのクライアントアプリケーションが新しいカーソルを開こうとすると、50 個のカーソルのうち最も古いカーソルが解放されます。異なる Force.com 機能のカーソル制限は個別に追跡されます。たとえば、50 個の Apex クエリカーソル、Apex 一括処理の `start` メソッドに 15 個のカーソル、Apex 一括処理の `execute` および `finish` メソッドにそれぞれ 5 個のカーソル、および 5 個の Visualforce カーソルを同時に開くことができます。

## 静的 Apex の制限

説明	制限
トランザクション内のコールアウト (HTTP 要求または Web サービスコール) のデフォルトのタイムアウト値	10 秒
コールアウト要求または応答 (HTTP 要求または Web サービスコール) の最大サイズ <sup>1</sup>	3 MB
SOQL クエリの最大実行時間。この時間を超えると、Salesforce でトランザクションをキャンセルできます。	120 秒
Apex リリース内のクラスとトリガの最大コードユニット数	5,000
ループリストのバッチサイズ用	200
Database.QueryLocator の 1 回の Apex 一括処理クエリで返される最大レコード数	5,000 万

<sup>1</sup> HTTP 要求のサイズおよび応答のサイズは、ヒープサイズの合計にカウントされます。

## サイズ固有の Apex 制限

説明	制限
クラスの最大文字数	100 万
トリガの最大文字数	100 万
組織内のすべての Apex コードで使用されるコードの最大量 <sup>1</sup>	3 MB
メソッドのサイズ制限 <sup>2</sup>	コンパイル形式で 65,535 バイトコード命令

<sup>1</sup> この制限は、AppExchange からインストールされた認定管理パッケージ (AppExchange Certified とマークされたアプリケーション) には適用されません。これらのパッケージタイプのコードは、組織のコードとは異なる独自の名前空間に属しています。AppExchange Certified パッケージについての詳細は、Force.com AppExchange オンラインヘルプを参照してください。この制限は、`@isTest` アノテーションで定義されたクラスに含まれるコードにも適用されません。

<sup>2</sup> 制限を超える大規模なメソッドはコードの実行中に例外が発生する場合があります。

## その他の Apex の制限

### SOQL クエリのパフォーマンス

最高のパフォーマンスを得るためには、特にトリガ内のクエリに対しては、セレクティブ SOQL クエリを使用する必要があります。実行時間が長時間に渡ることを回避するために、セレクティブ以外の SOQL クエリはシステムより終了される場合があります。100,000 件を超えるレコードを含むオブジェクトに対してトリガでセレクティブではないクエリを使用すると、エラーメッセージが表示されます。このエラーを回避するには、必ずセレクティブクエリを使用します。「より効率的な SOQL クエリ」を参照してください。

### 行動レポート

システム管理者以外のユーザの場合、行動レポートが返すレコードの最大数は 20,000 件です。システム管理者の場合、100,000 件です。

### Data.com クリーンアップ

Data.com クリーンアップ製品とその自動ジョブを使用していて、取引先、取引先責任者、またはリードレコードで実行する SOQL クエリの Apex トリガを設定している場合、それらのオブジェクトでクエリがクリーンアップジョブに干渉する可能性があります。Apex トリガ(合計)は、バッチあたり 200 個以下の SOQL クエリにしてください。この制限を超えると、そのオブジェクトに対するクリーンアップジョブが失敗します。また、トリガが `future` メソッドをコールする場合は、バッチあたり 10 個の `future` コールに制限されます。

## API の制限

使用可能なエディション: Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition、および Database.com Edition

以下に、同時および合計 API 要求数、Bulk API 操作、API カーソル数についての API 制限と、一部の API の制限について取り上げます。

## API 要求の制限

### 同時 API 要求数の制限





次の表は、20 秒以上の同時要求 (コール) 数について、さまざまな種類の組織に対する制限を示しています。

組織種別	制限
Developer Edition	5
トライアルの組織	5
本番組織	25
Sandbox	25

### API 要求数の合計に対する制限

次の表は、組織の 24 時間あたりの API 要求 (コール) 数の合計に関する制限について示しています。



Salesforce のエディション	ライセンスの種類ごとの API コール数	最小	最大
すべてのエディション: 指定なし の Apex 用の API テストコールに対する DebuggingHeader。API バージョン 20 以降で有効。		1,000	1,000
Developer Edition	なし	5,000	5,000
<ul style="list-style-type: none"> <li>Enterprise Edition</li> <li>Professional Edition (API アクセス有効)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Salesforce: 1,000</li> <li>Force.com App Subscription: 200</li> <li>Salesforce Platform: 1,000</li> </ul> <div>            メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>Force.com - One App: 200</li> </ul> <div>            メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>Gold Partner: 200</li> </ul>	5,000	1,000,000
<ul style="list-style-type: none"> <li>Unlimited Edition</li> <li>Performance Edition</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Salesforce: 5,000</li> <li>Force.com App Subscription: 200</li> <li>Salesforce Platform: 5,000</li> </ul> <div>            メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>Force.com - One App: 200</li> </ul> <div>            メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>Gold Partner: 200</li> </ul>	5,000	制限なし。ただし、高い数値を設定すると、システム負荷などのその他の制限要因によって、24 時間すべてのコール割り当てを使用できなくなる可能性が高まります。
Sandbox	なし	なし	5,000,000

API 要求についての詳細は、[システムの概要] ページの [API 使用状況] ボックスを参照してください。

コール数の制限は、24 時間あたりに組織で行われた API コール数の集計に対して適用されます。この制限は、ユーザごとに適用されるものではありません。組織がこの制限を超過した場合、組織内のすべてのユーザが一時的にブロックされ、追加のコールを行うことができなくなります。直近 24 時間の使用状況が制限値内に収まるまで、コールはブロックされます。

Salesforce アプリケーションでは、システム管理者は [組織情報] ページで過去 24 時間に発行された API 要求数を参照できます。システム管理者は、[レポート] タブに移動し、[管理レポート] フォルダを選択して [過去 7 日間の API 使用状況] レポートをクリックすることによって、過去 7 日間の API の使用状況に関する詳細なレポートも参照できます。



メモ: 制限はすべてのエディションに自動的に適用されます。

API にコールを送信するアクションはすべて、次の場合を除いて使用制限に数えられます。

- アウトバウンドメッセージ
- Apex 呼び出し

API 要求が指定した制限数の割合を超えた場合に、メールで指定ユーザーに通知するように組織で設定できます。この設定は、[設定] から [監視] > [API 使用状況通知] をクリックして実行できます。

## Bulk API の制限

Bulk API の制限	制限の説明
バッチの制限	24 時間内に送信可能なバッチ数は最大で 3,000 件に制限されています。作成後 24 時間を超えたジョブに新しいバッチを関連付けることはできません。
バッチの有効期限	作成後 7 日を超えたバッチやジョブは、ジョブの状況にかかわらずキューから削除されます。この有効期限は、ジョブに関連付けられた最も新しいバッチの作成日時によって判断されます。バッチが含まれていないジョブでは、ジョブの作成日時が基準になります。作成後 24 時間を超えたジョブに新しいバッチを関連付けることはできません。
バッチサイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• データ読み込みのバッチは 10 MB 以下の単一の CSV ファイルまたは XML ファイルで構成される必要があります。</li> <li>• 1 つのバッチには、最大で 10,000 件のレコードを含めることができます。</li> <li>• 1 つのバッチには、最大で 10,000,000 文字のデータを含めることができます。</li> <li>• 1 つの項目には、最大で 32,000 文字を含めることができます。</li> <li>• 1 つのレコードには、最大で 5,000 項目を含めることができます。</li> <li>• 1 つのレコードに含まれる項目には、合計で最大 400,000 文字を含めることができます。</li> <li>• バッチには何らかのコンテンツが必要です。バッチが空の場合はエラーが返されます。</li> </ul>
バッチの処理時間	バッチの処理時間には、100 レコードにつき 5 分という制限があります。また、1 つのバッチの処理に 10 分以上かかる場合、Bulk API ではバッチの残りはキューに戻され、後で処理されます。その後の処理でも 10 分以内に完了できない場合、バッチがキューに戻され最大 10 回まで処理が試行されます。それでも完了できない場合は、バッチ処理が完全に失敗したとみなされます。
バイナリ型のコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイル名の最大長は 512 バイトです。</li> <li>• zip ファイルの最大サイズは 10 MB です。</li> </ul>

Bulk API の制限	制限の説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツの最大合計サイズは、圧縮解除した状態で 20 MB です。</li> <li>1つの zip ファイルに含めることができるファイル数は最大で 1,000 ファイルです。ディレクトリはファイル数にはカウントされません。</li> </ul>
一括クエリのクエリ試行回数	10 分ごとに 15 回、バッチを処理します。クエリの処理時間には 2 分という制限もあります。クエリの試行回数が 15 回を超えると、「Tried more than ten times (試行回数が 15 回を超えました)」というエラーメッセージが返されます。クエリの処理時間が 2 分を超えると、QUERY_TIMEOUT エラーが返されます。
一括クエリの取得ファイル数	15 個。クエリで返されるファイルが 15 個を超える場合は、クエリを絞り込んで、返されるデータ量を減らす必要があります。一括バッチサイズは、一括クエリには使用されません。
一括クエリの結果の有効期限	7 日間。
一括クエリの取得ファイルサイズ	1 ギガバイト。
ジョブの Open 状態の時間	ジョブの状態が Open であるのは、作成後最大 24 時間までです。Bulk API では、バッチを毎時間に 1 つずつ、長時間にわたって追加するようなクライアントはサポートされません。

## API クエリカーソルの制限

ユーザは一度に最大 10 個のクエリカーソルを開くことができます。同じユーザとしてログインしているクライアントアプリケーションが、新しい QueryLocator カーソルを開こうとしたときに、10 個のカーソルがすでに開かれていると、そのうち最も古いカーソルが解放されます。クライアントアプリケーションがリリースされたクエリカーソルを開こうとすると、エラーになります。

## 一部の API コールの制限

API 名	API の制限	制限の説明
<code>create()</code>	最大作成レコード数	クライアントアプリケーションは、1 回の <code>create()</code> コールで最大 200 個のレコードを追加できます。create 要求が 200 オブジェクトを超えると、操作全体が失敗します。
<code>describeSObjects()</code>	返されるオブジェクトの最大数	<code>describeSObjects()</code> コールが返すことができるオブジェクトの最大数は 100 個です。
<code>emptyRecycleBin()</code>	ごみ箱内の最大レコード数	組織では、一度に 1 ライセンスあたり最大 5,000 件のレコードをごみ箱に入れることができます。たとえば、組織に 5 つのユーザライセンスがある場合、25,000 件のレコードをごみ箱に格納できます。組織のごみ箱が上限に達すると、Salesforce によって、ごみ箱に入れられてから 2 時間以上経過しているレコードが古い方から順に削除されます。



API 名	API の制限	制限の説明
<code>getDeleted()</code>	返されるレコードの制限	<ul style="list-style-type: none"> <li><code>getDeleted()</code> コールが 600,000 件を超えるレコードを返し、ユーザがシステム管理者の場合、EXCEEDED_ID_LIMIT 例外が返されます。</li> <li><code>getDeleted()</code> コールが 20,000 件を超えるレコードを返し、ユーザがシステム管理者ではない場合、OPERATION_TOO_LARGE 例外が返されます。ユーザが参照可能なデータだけでなく、組織全体で 20,000 件以上のレコードが削除された場合、このエラーが発生することにご注意ください。</li> </ul>
<code>login()</code>	ログイン要求のサイズ制限	ログイン要求のサイズは、10 KB 未満に制限されています。
<code>login()</code>	1 時間あたりのユーザごとの最大コール数	<code>login()</code> は、1 時間につき 1 ユーザあたり最大 3600 コールに制限されています。この制限を超えると、「Login Rate Exceeded (ログイン数の制限を超えました。)」エラーが表示されます。
<code>merge()</code>	マージ要求の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 つの SOAP コール内に、最大 200 件のマージ要求を作成可能です。</li> <li>親レコードを含めて、最大 3 つのレコードが 1 つの要求にマージ可能です。これは、Salesforce のユーザインターフェースと同じ制限です。マージするレコードが 3 つ以上ある場合は、エラー防止のために各要求内で同じ masterRecord を使用します。</li> <li>外部 ID 項目では、<code>merge()</code> を使用することはできません。</li> </ul>
<code>update()</code>	最大更新レコード数	クライアントアプリケーションは、1 回の <code>update()</code> コールで最大 200 レコードを変更できます。200 レコードを超える更新要求がある場合、操作全体が失敗します。
<code>query()</code> および <code>queryMore()</code>	バッチサイズ制限	<p>デフォルトでは、<code>query()</code> または <code>queryMore()</code> コールで返されるクエリ結果オブジェクト内に返される行数(バッチサイズ)は 500 に設定されています。WSC クライアントでバッチサイズを設定するには、接続オブジェクトに対して <code>setQueryOptions()</code> をコールします。C# クライアントアプリケーションでこの設定を変更するには、<code>query()</code> コールを呼び出す前に、<code>QueryOptions</code> コールで SOAP ヘッダー部分にバッチサイズを指定します。最大バッチサイズは 2,000 レコードです。ただし、この設定はあくまでも目安です。要求されるバッチサイズが、実際のバッチサイズになるとは限りません。パフォーマンスを最大化するために変更が行われます。</p> <p>SOQL ステートメントがロングテキストタイプの 2 つ以上のカスタム項目を選んだ場合、バッチサイズは 200 未満になります。これは、大きな SOAP メッセージを防止するためです。</p>

## ストリーミング API の制限

制限によって、共有リソースが保護されます。これは、ストリーミング API の基本コンシューマを対象としたデフォルトの制限です。アプリケーションでこの制限を超えるか、トピックあたりのクライアント数または全トピックの同時クライアント数を増やす必要がある場合は、salesforce.com にお問い合わせください。

説明	Performance Edition および Unlimited Edition	Enterprise Edition	他のすべてのエディション
組織あたりのトピック (PushTopic レコード) の最大数	50	25	20
トピックあたりのクライアント (登録者) の最大数	100	20	10
全トピックの同時クライアント (登録者) の最大数	1000	500	10
1 日あたりのイベントの最大数 (24 時間)	1,000,000	200,000	10,000 (無料の組織の場合は 1,000)
接続中のソケットタイムアウト (CometD セッション)	110 秒	110 秒	110 秒
接続成功後の再接続までのタイムアウト (keepalive)	40 秒	40 秒	40 秒
CometD セッションの最大有効期間 (アクティビティの有無にかかわらず)	2 時間	2 時間	2 時間
PushTopic レコードの Query 項目での SOQL クエリの最大長	1300 文字	1300 文字	1300 文字
PushTopic 名の最大長	25 文字	25 文字	25 文字

## メール制限

API または Apex を使用して、グリニッジ標準時間 (GMT) に基づいて、1 日に最大 1,000 個の外部メールアドレスに単一メール送信できます。Salesforce アプリケーションを使用して送信する単一メールはこの制限にカウントされません。取引先、取引先責任者、リード、商談、ケース、キャンペーン、カスタムオブジェクトの各ページから、組織の取引先責任者、リード、個人取引先、ユーザに個別のメールを送信する場合は、制限はありません。

単一メールを送信する場合は、次の点に注意してください。

- SingleEmailMessage ごとに 100 個までのメールを送信できます。
- SingleEmailMessage を使用して組織の内部ユーザにメールを送信するときに setTargetObjectId でユーザ ID を指定すると、メールが 1 日あたりの制限値にカウントされません。ただし、setToAddresses で内部ユーザのメールアドレスを指定すると、制限値にカウントされます。

グリニッジ標準時間 (GMT) に基づいて、1 組織あたり 1 日に合計 1,000 個の外部メールアドレスに一括メール送信できます。各一括メール送信に含むことのできる外部メールアドレスの最大数は、次のようにエディションに応じて異なります。

エディション	一括メール送信あたりの外部アドレス制限
Personal Edition、Contact Manager Edition、および Group Edition	一括メール送信は使用できません
Professional Edition	250
Enterprise Edition	500
Unlimited Edition と Performance Edition	1,000



メモ: 次のメール制限に注意してください。

- 単一メールおよび一括メールの制限では、アドレスが一意であるかどうかは考慮されません。たとえば、メールに johndoe@example.com が 10 回含まれている場合、制限に対して 10 とカウントされます。
- ポータルユーザを含め、組織の内部ユーザに送信できるメールには制限はありません。
- トライアル期間中の Developer Edition 組織と Salesforce を評価する組織では、1 日あたり 10 個を超える外部メールアドレスに一括メール送信できません。この低い制限は、組織が Winter '12 リリースより前に作成されており、一括メール送信がすでに高い制限で有効になっている場合は適用されません。

## メタデータの制限


使用可能なエディション: Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition、および Database.com Edition

メタデータのリリースと取得については、次の制限があります。これらの制限は、Force.com IDE、Force.com 移行ツール、およびメタデータ API に適用されます。

メタデータの制限	制限の説明
メタデータの取得とリリース	メタデータ API は、一度に最大 5,000 個のファイルをリリースおよび取得できます。  特定のファイルサイズ制限が適用されていない場合は、非常に大きいファイルではメモリ不足エラーが発生する可能性があります。
変更セット	受信および送信変更セットは、最大 5,000 ファイルのメタデータを持つことができます。

## SOQL と SOSL の制限

使用可能なエディション: Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition、および Database.com Edition

機能	制限	制限の説明
SOQL ステートメントの ORDER BY 句	ORDER BY 項目の制限	32 項目
リレーションクエリ	リレーションクエリの制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 回のクエリに指定できる子-親リレーションは、35 個以下です。カスタムオブジェクトには最大 25 個のリレーションが許可されているため、1 回のクエリでカスタムオブジェクトのすべての子-親リレーションを参照できます。</li> <li>1 回のクエリに指定できる親-子リレーションは、20 個以下です。</li> <li>指定された各リレーションで、1 つの子-親リレーションに指定できるレベルは 5 つ以下です。たとえば、<code>Contact.Account.Owner.FirstName</code> は 3 レベルです。</li> <li>各指定リレーション内で、親-子リレーションの 1 つのレベルだけが 1 つのクエリ内で指定可能です。たとえば、FROM 句が <code>Account</code> を指定している場合、SELECT 句では <code>Contact</code> かそのレベルの他のオブジェクトのみを指定できます。<code>Contact</code> の子オブジェクトを指定することはできません。</li> </ul>
SOQL ステートメント	SOQL ステートメントの最大長	<p>デフォルトでは、SOQL ステートメントの長さは 20,000 文字を超えることができません。</p> <div>  <p>メモ: 多数の数式項目を含むステートメントなど、長くて複雑な SOQL ステートメントでは、<code>QUERY_TOO_COMPLICATED</code> エラーが発生する場合があります。これは、元の SOQL ステートメントが上限の 20,000 文字未満であっても、Salesforce によって処理されるときにステートメントが内部展開されるために発生します。これを避けるには、SOQL ステートメントの複雑さを軽減します。</p> </div>
SOSL ステートメント	SOSL ステートメントの最大長	SOSL ステートメントの文字数制限は、組織で定義されている SOQL ステートメントの文字数の制限に関連付けられます。デフォルトでは、SOQL クエリおよび SOSL クエリは 20,000 文字を超えることはできません。
SOSL クエリ結果	返される最大行数	クエリでカスタム制限を指定しない限り、合計 2,000 件の結果 (API バージョン 28.0 以降)。以前の API バージョンで返される結果は 200 件です。
SOQL ステートメントの OFFSET 句	OFFSET でスキップされる最大行数	最大オフセットは 2,000 行です。2,000 より大きいオフセットを要求すると <code>NUMBER_OUTSIDE_VALID_RANGE</code> エラーが発生します。

機能	制限	制限の説明
FOR VIEW と FOR REFERENCE	許容される最大 RecentlyViewed レコード数	RecentlyViewed オブジェクトは、ログインユーザがレコードを表示または参照するたびに更新されます。また、SOQL クエリで FOR VIEW または FOR REFERENCE 句を使用してレコードを取得した場合にも更新されます。最新のデータを確実に使用できるようにするため、1 オブジェクトにつきレコードが 200 件までになるよう、RecentlyViewed データは定期的に切り捨てられます。

一部の Salesforce オブジェクトに固有の SOQL 制限とヒントは次のとおりです。

オブジェクト	説明
ContentDocumentLink	SOQL クエリの絞り込みでは、Id、ContentDocumentId、LinkedEntityId のいずれかを条件にする必要があります。
NewsFeed	<ul style="list-style-type: none"> <li>ログインしたユーザに「すべてのデータの参照」権限がある場合、SOQL の制限はありません。この権限がない場合は、LIMIT 句に 1,000 レコード以下を指定してください。</li> <li>リレーションを使用する項目に対して SOQL ORDER BY は使用できません。SOQL クエリでは、ORDER BY はルートオブジェクトの項目に対して使用してください。</li> </ul>
KnowledgeArticleVersion	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の場合を除き、必ず Language の値は 1 つだけ指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Id または KnowledgeArticleId に基づく条件がある場合。</li> <li>コンテキストユーザに「ナレッジの編集」権限または「すべてのデータの参照」権限がある場合。</li> </ul> </li> <li>クエリで 1 つ以上の主キー ID を指定する場合を除き、必ず PublishStatus の値は 1 つだけ指定します。セキュリティをサポートするために、PublishStatus の値が Draft の記事は「記事の管理」権限を持つユーザにのみ表示されます。</li> <li>アーカイブ済み記事のバージョンは、articletype_kav オブジェクトに保存されます。アーカイブ済み記事のバージョンをクエリするには、記事の Id を指定し、sLatestVersion='0' を設定します。</li> </ul>
RecentlyViewed	RecentlyViewed オブジェクトは、ログインユーザがレコードを表示または参照するたびに更新されます。また、SOQL クエリで FOR VIEW または FOR REFERENCE 句を使用してレコードを取得した場合にも更新されます。最新のデータを確実に使用できるようにするには、1 オブジェクトにつきレコードが 200 件までになるよう、RecentlyViewed データを定期的に切り捨てます。
TopicAssignment	<p>ログインしたユーザに「すべてのデータの参照」権限がある場合、SOQL の制限はありません。そうでない場合は、次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LIMIT 句に 1,100 件以下のレコードを指定する。</li> </ul>

オブジェクト	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「=」を指定した WHERE 句を使用する場合に、Id または Entity を絞り込む。</li> </ul>
UserRecordAccess	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ず『SOAP API 開発者ガイド』で指定されたクエリ形式を使用してください。</li> <li>ORDER BY 句を含めることができます。SELECT HasAccess の場合は ORDER BY HasAccess、SELECT MaxAccessLevel の場合は ORDER BY MaxAccessLevel を使用する必要があります。</li> <li>クエリ可能な最大レコード数は 200 件です。</li> </ul>
UserProfileFeed	<ul style="list-style-type: none"> <li>ログインしたユーザに「すべてのデータの参照」権限がある場合、SOQL の制限はありません。この権限がない場合は、LIMIT 句に 1,000 レコード以下を指定してください。</li> <li>リレーションを使用する項目に対して SOQL ORDER BY は使用できません。SOQL クエリでは、ORDER BY はルートオブジェクトの項目に対して使用してください。</li> </ul> <p>また、SOQL クエリには WITH UserId = {userId} を含める必要があります。</p>
Vote	<ul style="list-style-type: none"> <li>ParentId = [単一の ID]</li> <li>Parent.Type = [単一型]</li> <li>Id = [単一の ID]</li> <li>Id IN = [ID のリスト]</li> </ul>

## Visualforce の制限

使用可能なエディション: **Contact Manager Edition**、**Group Edition**、**Professional Edition**、**Enterprise Edition**、**Performance Edition**、**Unlimited Edition**、および **Developer Edition**

制限	値
Visualforce ページの最大応答サイズ	15 MB 未満
Visualforce ページの最大ビューステートサイズ	135 KB
Visualforce メールテンプレートの最大サイズ	1 MB
Visualforce ページを使用したファイルアップロードの最大ファイルサイズ	10 MB
Visualforce ページが PDF として表示される場合の、表示前の HTML 応答の最大サイズ	15 MB 未満
PDF として表示される Visualforce ページの最大 PDF ファイルサイズ	60 MB



制限	値
PDF として表示される Visualforce ページに含まれる全画像の最大合計サイズ	30 MB
JavaScript リモートコールの最大応答サイズ	15 MB
JavaScript リモートコールのデフォルトタイムアウト値	30,000 ミリ秒 (30 秒)
JavaScript リモートコールの最大タイムアウト値	120,000 ミリ秒 (120 秒)
1 つの Visualforce ページ要求のクエリによって取得される最大行数	50,000
参照のみモードで 1 つの Visualforce ページ要求のクエリによって取得される最大行数	100 万
<code>&lt;apex:pageBlockTable&gt;</code> や <code>&lt;apex:repeat&gt;</code> などの反復コンポーネントで反復可能なコレクション項目の最大数	1,000
参照のみモードで、 <code>&lt;apex:pageBlockTable&gt;</code> や <code>&lt;apex:repeat&gt;</code> などの反復コンポーネントで反復可能なコレクション項目の最大数	10,000
1 つの Visualforce ページに表示可能な最大項目セット数	50
StandardSetController で処理可能な最大レコード数	10,000